

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】令和 4 年 9 月 2 日(2022.9.2)

【公開番号】特開 2022-24540(P2022-24540A)

【公開日】令和 4 年 2 月 9 日(2022.2.9)

【年通号数】公開公報(特許)2022-024

【出願番号】特願 2020-127192(P2020-127192)

【国際特許分類】

A 0 1 K 87/06(2006.01)

10

A 0 1 K 87/08(2006.01)

【F I】

A 0 1 K 87/06 B

A 0 1 K 87/08 B

【手続補正書】

【提出日】令和 4 年 8 月 25 日(2022.8.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 3

20

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 3】

上記したリールシートは、硬質樹脂や繊維強化樹脂を射出成形することで一体形成されており、前記第一筒部と第二筒部との間には、リール脚載置部が形成されると共に、両側に湾曲状の凹部を有するブリッジ部が形成されている。このブリッジ部による凹部は、第一筒部と第二筒部に挿通される竿杆よりも径方向外方に位置するように形成されており、リールシートの軽量化を図っている。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

30

【補正対象項目名】0 0 2 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 7】

なお、上記したリールシートには、握り込んで指が当たる部分に、別途、グリップ性の良い軟質部材（例えば、ウレタン、EVA、熱可塑性エラストマー、ゴム等）を設けておいても良い。例えば、ナット部材 22A をそのような部材で被着しても良いし、第 1 筒部 10 の固定フード 12 から後方へ突出する部分の外周面に、上記した材料で形成されるグリップ部材を被着しても良い。

40